

モンゴル

〔基礎データ〕

モンゴルはアジア大陸中央の中国の北に位置する内陸国です。

モンゴルの貧困レベルは高く、地方では雇用や収入を得る機会が限られていること、インフラの不整備、不十分な教育・健康サービス、また、市場、情報へのアクセスの困難さから、遊牧で生計を立てることができなくなった遊牧民が移住し、「ゲル」（移動式住居）を都市郊外に立てて集落を形成するなど、都市集中化が問題となっています。また、安全な飲み水を利用できる人は全人口の76%、適切な衛生施設（トイレ）を利用する人は、50%です。

モンゴル赤十字社では、青少年が同年代に知識を伝えるピア・エデュケーターの育成や指導者の研修を行い、青少年赤十字活動の組織を強化し、学校における教育・衛生環境の整備、手洗い等の衛生習慣や健康・安全を守るための知識の普及等を行っています。

参考資料：「衛生施設と飲料水の前進：2010 最新報告書」（ユニセフ・WHO 共同報告書）



〔衛生・教育環境の改善〕

文具 6,000 セット（1 年あたり）を必要とする子どもに配付するほか、学校に対してスポーツ用品を配付しています。また、学校のトイレの修理・新設や、赤十字活動ルームを学校に設置する活動を行っています。



文具を受け取った生徒たち

〔青少年赤十字活動の支援〕

メンバーに対する研修会の開催と、救急法や保健衛生の知識を伝えるピアエデュケーターの育成、コンテストなどのイベントの企画、普及のための教材の作成等を通じ、子どもたちによるピアエデュケーション活動をサポートしています。



家族に教えたり、近くの学校に教えに行ったりもして、前より自分に自信が持てるようになりました。

ピアエデュケーターから他のメンバーへ救急法を伝える

〔国際理解・親善〕

日本とモンゴルの間でトピックアルバム（絵やメッセージを書いたアルバム）を交換したり、互いを訪問したりして交流を深めています。また、日本やモンゴル、他の国のメンバーが交流に使う国際キャンプの設営もサポートしています。

〔2010年の活動報告〕

▽資材の配付

- …バスケットボール、サッカーボール、バレーボールを購入し、50の学校に配付した。
- …CDプレイヤー、掲示板、ホワイトボード、赤十字ユース旗といったいくつかの備品を支部に配付した。

▽各学校における赤十字活動ルーム（Humanitarian Room）の設置

保健衛生について学ぶためのいくつかの備品（赤十字インフォメーションボード、救急法訓練資材、健康に関するハンドブック、ポスター等）を備え、人道的活動の企画、準備のための部屋を学校内に設置した。

▽赤十字活動トレーナーの研修

各学校、地域において赤十字活動を促すトレーナー研修を実施。研修では赤十字と赤十字ボランティアの活動、本事業（青少年赤十字教育等支援事業）の詳細と目的を学んだ。

▽ピア・エデュケーターの研修

同世代の立場から同じ世代の若者に知識を伝えていくピア・エデュケーター養成のため、5つの学校から社会活動に関心のある生徒75名が選ばれ、研修を受講した。
その中の何人かは全国の青少年赤十字メンバーキャンプで数多くの活動を企画、実施した。

▽健康コンクール

学校ごとに数多くのコンクールを実施した。

- Khovd 支部では、生徒たちの健康に関する問題に対する理解を高め、その知識を提供するため、Aha と呼ばれるコンペティションが実施された。このイベントではピア・エデュケーターが健康に関する質問を用意し、それに対して生徒が正しい回答を答えていく形式で行われた。
- Nalaikh 支部では心身の健康と余暇の正しい過ごし方として、バスケットボールの対戦が行われた。
- Songino-Khair 地区では AHA Q&A match が実施された。参加生徒にはノートとペン、文房具が配付された。

・ **Khovd** 支部ではピア・エデュケーターが中学 1 年生約 195 人に対して健康的な生活のための知識を提供するためのブース型のヘルストレーニングを実施した。以下のテーマについて 6 つのブースが設けられた。

- －国際赤十字の知識
- －健康のための習慣
- －口腔衛生
- －精神衛生
- －アルコールと健康
- －タバコと健康

・ **Uvs** 支部では学校、地域の報道局、行政の教育部門の協力で「**First Aid Save our Lives**」(いのちを守る救急法)をテーマにしたコンペティションが実施された。

▽保護者たちへの理解促進

学校で赤十字活動を実施することに対する親たちの理解と支援を促すため、ピア・エデュケーターの保護者向けのトレーニングと面会を実施。**Khovd** 支部では“お父さん、お母さんと私”というテーマのゲームが企画され、12 チーム、約 100 人を超える生徒とその親たちが参加した。

▽ピア・エデュケーターの集い

ピア・エデュケーターが自分たちのこれまでの経験を共有し、活動手法について議論を交わした。計 50 人のピア・エデュケーターが参加した。

▽青少年赤十字・赤十字ユースのためのマニュアル配布

冊子「**Junior Health**」(青少年の健康)を 500 部、赤十字ユースパンフレットを 3,000 部、ポスター 2,000 枚、救急法のポスター 560 枚、日本とモンゴルのシール 150 枚を作成、配付した。

▽国際交流

日本で開催された国際交流集会に参加。また日本からも青少年赤十字メンバーがモンゴルを訪問し、モンゴルの青少年赤十字メンバーとともにさまざまな活動を体験した。